

平成23年度「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成事業」
選考結果報告

瀬戸内海研究会議

◆応募状況

平成23年5月2日～31日の募集期間において、「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成事業」に、24件（25名）の応募があった。

◆選考委員会概要

開催日：平成23年6月28日

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成事業選考委員
(瀬戸内海研究会議企画委員)

選考方法：委員による事前評価をもとにした選考委員会における合議

◆選考結果

24件の応募のうち、選考委員会において下表に示す9件の助成研究が、今年度の助成対象として選考された。

採択者一覧表

申請者	所属	助成研究テーマ
藤井 智康 小林 志保	奈良教育大学教育学部 京都大学大学院農学研究科	大阪湾・播磨灘における二酸化炭素の挙動と収支に関する研究(その2)
小路 淳	広島大学大学院 生物圏科学研究科	大阪湾圏の浅海域成育場が魚類生産に果たす役割の定量評価：広域調査による空間変動解析(その2)
浜口 昌巳	(独)水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所	アサリをモデルとした大阪湾および周辺海域の干潟生物ネットワークの解明
多田 邦尚	香川大学農学部	大阪湾の植物プランクトンの季節・経年変動とその要因(その3)
松沢 慶将	神戸市須磨海浜水族園	須磨海岸における砂浜生態系の修復を目標とした順応的管理手法の提案
吉田 光方子	(財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター	播磨灘、加古川流域を対象とした難分解性有機物及び窒素、リンに関する特性評価
林 美鶴	神戸大学自然科学系先端融合 研究環内海域環境教育センター	河川下流から河口域にかけての有毒赤潮発生機構の解明と抑制方法の検討
上田 萌子	兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境マネジメント部	土地利用履歴からみた塩性湿地の基盤環境と塩生植物の現状との関係性に関する研究～淡路島東部成ヶ島を事例として
小野寺 真一	広島大学大学院総合科学研究科	大阪湾岸河口域周辺における地表水—地下水交流プロセスを考慮した栄養塩負荷の再評価